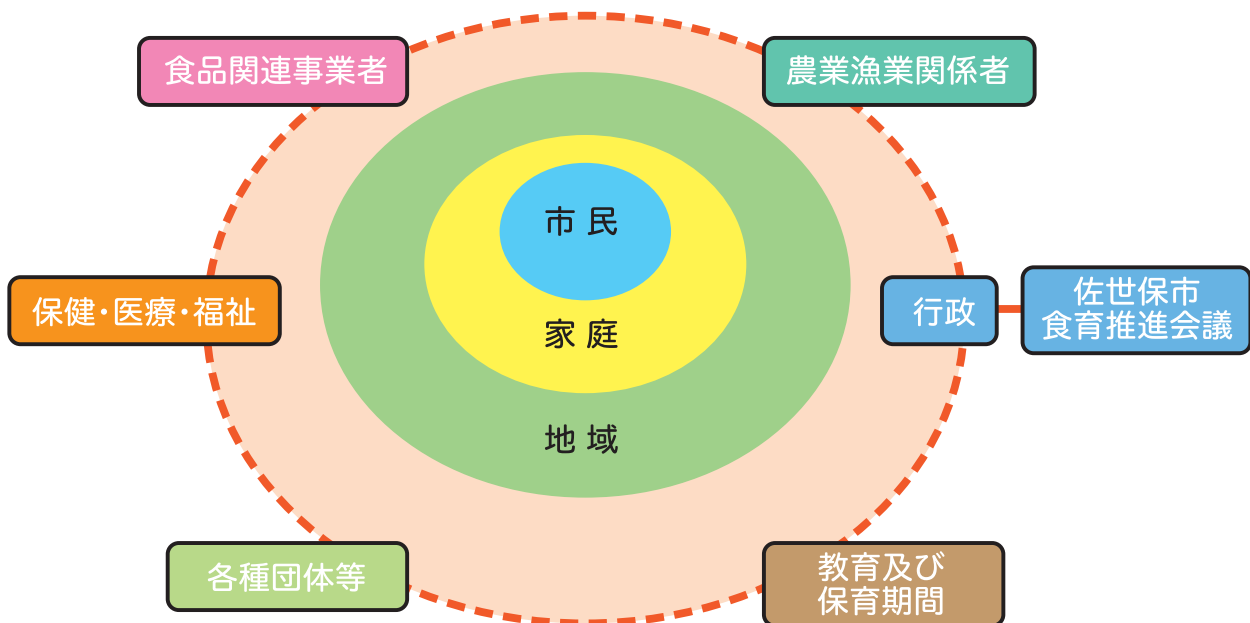


4-1 計画の推進体制

食育の推進については、市民一人ひとりが主体的に取り組んでいくために、教育及び保育関係者、保健・医療・福祉関係者、農林漁業関係者、食品関連事業者など、様々な関係機関や団体及び行政が、相互の情報共有を図りながら、密接な連携のもと、それぞれの役割に応じた取り組みを推進していくことが重要です。

また、計画に基づく取り組みについて、様々な手段をとおして情報提供に努めるとともに、市民の意見や考え方などを積極的に把握し、その内容について施策に反映させていくことが必要です。

様々な取り組みを推進しながら、定期的実施事業の進捗状況の把握や、数値目標の達成状況及び施策の具体的な評価を「佐世保市食育推進会議」において行い、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。



4-2 食育推進にあたっての役割

1 市民・家庭の役割

食育の推進には、市民一人ひとりが食への関心を高め、自ら食に関する正しい知識や情報を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することが求められます。

家庭は基本的な食習慣を身につける上で大きな役割を担っています。家族団らんで食卓を囲むことを基本に、食に関する正しい知識やマナー、健全な食習慣を身につける、食の楽しさを実感するなど、日常生活の中で食育を実践することが必要です。

各基本目標について、ライフステージ別に望まれる市民の取り組み内容をP.35にまとめました。

ライフステージ別 望まれる市民の取り組み内容(基本目標に沿った考え方)

基本目標	乳幼児期(0~5歳頃)	学齢期(小・中学生)	青年期(16~29歳)	壮年期(30~64歳)	高齢期(65歳~)	妊 娠 期
1 「食育」の認知度を向上させる		「食育」の言葉の意味を理解する	「食育」の意味を理解して取り組む	青年期の取り組みを継続しながら次世代に伝える	青年期(65歳~)	妊娠前から胎児の食育が始まっていることを理解する
2 朝食を欠食する市民を減らす	早寝早起きの習慣をつける	朝食を食べる習慣をつける 朝食の働きを理解する	食べる習慣を継続する 自分で朝食を準備する力をつける	青年期の取り組みを継続しながら次世代に伝える	青年期(65歳~)	食べる習慣を継続する
3 栄養バランスに配慮した食生活を実践する市民を増やす	食べ物に興味を持つ	食べ物の働きに興味を持ち、主食・主菜・副菜を理解する	主食・主菜・副菜をそろえた食事を自身で準備する力をつける	青年期の取り組みを継続しながら次世代に伝える	青年期(65歳~)	主食・主菜・副菜をそろえ、妊娠経過に応じた量を摂取していく
4 生活習慣病の予防や改善のために、普段から食生活に気を付け、実践する市民を増やす		生活習慣病を知り、生活リズムを整える	生活習慣病について理解を深め、予防のための行動ができる	健康診断などで定期的に自分の状態を把握し、現状に合わせた食生活を実践・継続する	健康診断などで定期的に自分の状態を把握し、現状に合わせた食生活を実践・継続する	妊娠中の望ましい体重増加を目指す 妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病について理解を深め、予防のための行動ができる
5 栄養成分表示を確認する市民の割合		食品の表示に関心を持つ	栄養成分表示の見方を知り、食品を選ぶ	栄養成分表示を見て食品を選ぶ	栄養成分表示を見て食品を選ぶ	栄養成分表示の見方を知り、食品を選ぶ
6 噛ミング30の推進について(ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす)	発達に応じて噛む練習をする	よく噛んで食べることの必要性を理解し、実践する	定期的に歯科健診を受けて、口腔ケアを行う よく噛むことを意識して実践する	定期的に歯科健診を受けて、口腔ケアを行う よく噛むことを意識して実践する	定期的に歯科健診を受けて、口腔ケアを行う よく噛むことを意識して実践する	妊産婦歯科健診を受けて口腔ケアを行う よく噛むことを意識し、実践する
7 家族そろっての食事の機会を増やす	家族と一緒に食べることを楽しむ		仲間・家族との共食の機会を維持する	仲間・家族との共食の機会を維持する	仲間・家族との共食の機会を維持する	仲間・家族との共食の機会を維持する
8 学校における食育の取り組みなどを増やす(充実させる)		地場産物を使った給食を食べる				
9 食育の推進にかかわるボランティアの数を増やす						
10 地産地消の推進(地場産物を認知している市民を増やす)	体験等を通して、食材に興味を持つ	買い物や農業体験等を通して地域の食材を知る	地域の食材を知り、選択する	食を通じたボランティア活動に取り組む	実践しながら次世代に伝える	
11 食文化(伝統的な料理や作法など)を継承し、伝えていく市民を増やす	箸を使って食べる郷土料理や伝統料理にたくさん触れる	正しい箸の持ち方を身につける 郷土料理や伝統料理を理解する	郷土料理や伝統料理を作ることができる	生活の中に郷土料理や伝統料理を取り入れながら次世代に伝える	食品ロス削減に取り組む 食品ロス削減について次世代に伝える	
12 食品の安全性に関する基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民を増やす	食べ残しがついたことを知る	食品ロスの現状を知る	食品ロス削減に取り組む	食品ロス削減に取り組む 食品ロス削減について次世代に伝える	食品ロス削減に取り組む 食品ロス削減について次世代に伝える	正しい手洗い方法を身につけ、実践する

2 教育及び保育関係者等の役割

保育所・幼稚園・認定こども園、学校などは、子どもの健全な食生活の形成と豊かな人間性を育む上で、重要な役割を果たしています。

学校や保育所などが家庭や地域と密接に連携を図り、子どもが食の大切さや楽しさを学ぶことができるよう、食育を推進することが大切です。

3 関係機関、団体、事業者等の役割

家庭や学校等における取り組みのほか、食育を社会全体で推進するためには、保健・医療・福祉関係者、事業者・食品関連事業者、生産者、ボランティア活動をしている各種団体による幅広い活動が求められます。

また、個人が健全な食生活を実践しやすくなるよう、事業者などによる食環境づくりの取り組みも求められていきます。

関係機関、団体、事業者等がそれぞれの役割を担いつつ、市民や学校、行政などと連携を図っていく必要があります。

4 行政の役割

食育の推進に関し、市民や関係機関、団体、事業者等とともに食育に取り組んでいくため、保育、教育、健康、農業、流通、環境などの幅広い分野における施策を相互に連携を図りながら、総合的かつ計画的に推進していきます。

食育に関する啓発の方法については、SNS活用やインターネット上での動画配信、オンラインでの非接触型の食育の展開などデジタル技術の活用及びオンライン化を推進し、効果的な情報発信に努めます。

4-3 計画の進捗管理と評価

庁内の関係部署で構成する「食育推進検討委員会」を中心に、計画に基づく施策の総合的かつ計画的な推進を図るとともに、その進捗状況を適切に把握するよう努めます。

また、実施した施策について、学識経験者、関係団体の代表者などで構成する「佐世保市食育推進会議」の意見などを参考に評価を行い、これを踏まえた施策の見直しと改善に努めます。



対応する食育推進基本目標

- 1…「食育」の認知度 2…朝食摂取 3…栄養バランスへの配慮 4…生活習慣病の予防 5…嗜ミング30 6…家族そろっての食事
7…学校における食育の取り組み 8…食育推進ボランティア 9…地産地消の推進 10…食文化の継承 11…食品ロス削減 12…食品の安全性

1. 家庭でのライフステージにおける食育の推進

※○は特に力を入れる

食育推進計画による基本目標	番号	中事業	事業項目	担当課名	1 「食育」の認知度	2 朝食摂取	3 栄養/バランスへの配慮	4 生活習慣病の予防	5 嗜ミング30	6 家族そろっての食事	7 学校における食育の取り組み	8 食育推進ボランティア	9 地産地消の推進	10 食文化の継承	11 食品ロス削減	12 食品の安全性	
1. 「食育」の認知度	1	子育て支援啓発事業	離乳食講座と実習	幼児教育センター	○	○	○	○	○	○					○	○	
	2	食育推進事業	高校生への食育推進事業	健康づくり課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	3	コミュニティセンター主催講座事業	食に関する講座による情報提供	社会教育課	○												
	4	生涯学習講師派遣事業	まちづくり出前講座	社会教育課	○												
	5	食育推進事業	食育意識啓発、普及	健康づくり課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	食育推進事業	ヘルシーキッキングコンテスト(家族そろっての食育推進)	健康づくり課	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
	7	食育推進事業	大学生・専門学校生への食育推進事業	健康づくり課	○	◎	◎	◎	○	○	○			○	○	○	○
3. 栄養バランスへの配慮	8	母子管理対策事業	4カ月児健診	子ども保健課	○	○	○	○	○	○							
	9	介護予防・生活支援サービス事業	きらっと元気教室	長寿社会課			○										
	10	育児等健康支援事業	母子健康手帳交付	子ども保健課	○	○	○	○	○	○							
4. 生活習慣病の予防	11	育児等健康支援事業	マタニティ学級	子ども保健課	○	○	○	○	○	○							
	12	特定健康診査事業費	特定健康診査	医療保険課				○									
	13	特定保健指導事業費	特定保健指導	医療保険課		○	○	○	○	○							
	14	健康相談事業	健康相談	健康づくり課		○	○	○	○	○							
	15	健康教育事業	健康教育	健康づくり課		○	○	○	○	○							
5. 嗜ミング30	16	1歳6カ月児健康診査	1歳6カ月児健康診査(歯科健診含む)	子ども保健課	○	○	○	○	○	○						○	
	17	1歳6カ月児健康診査	2歳児経過歯科健診	子ども保健課	○	○	○	○	○	○						○	
	18	3歳児健康診査	3歳児健康診査(歯科健診含む)	子ども保健課	○	○	○	○	○	○						○	

対応する食育推進基本目標

1・・・「食育」の認知度 2・・・朝食摂取 3・・・栄養バランスへの配慮 4・・・生活習慣病の予防 5・・・噛ミン30 6・・・家族そろっての食事
7・・・学校における食育の取り組み 8・・・食育推進ボランティア 9・・・地産地消の推進 10・・・食文化の継承 11・・・食品ロス削減 12・・・食品の安全性

食育推進計画による基本目標	番号	中事業	事業項目	担当課名	1 「食育」の認知度	2 朝食摂取	3 栄養バランスへの配慮	4 生活習慣病の予防	5 噛ミン30	6 家族そろっての食事	7 学校における食育の取り組み	8 食育推進ボランティア	9 地産地消の推進	10 食文化の継承	11 食品ロス削減	12 食品の安全性
5. 噛ミン30	19	健康診査事業	成人歯科健診	健康づくり課	○	○	○	○	○	○						
	20	歯科保健推進事業	8020認定証発行交付	健康づくり課			○	○	○	○						
	21	健康診査事業	妊産婦歯科健診	子ども保健課・健康づくり課			○	○	○	○						
	22	歯科保健推進事業	デンタルフェスティバル	健康づくり課	○		○	○	○	○						
6. 家族そろっての食事	23	子育て支援啓発事業	父親向け食育講座	幼児教育センター	○	○	○	○	○	○				○		○
	24	男女共同参画推進啓発事業	親子クッキング	人権男女共同参画課			○			○						

2. 教育及び保育機関などにおける食育の推進

食育推進計画による基本目標	番号	中事業	事業項目	担当課名	1 「食育」の認知度	2 朝食摂取	3 栄養バランスへの配慮	4 生活習慣病の予防	5 噛ミン30	6 家族そろっての食事	7 学校における食育の取り組み	8 食育推進ボランティア	9 地産地消の推進	10 食文化の継承	11 食品ロス削減	12 食品の安全性
1. 「食育」の認知度	25	幼児教育センター運営費(再掲)	食に関する相談(子育てトークほっとタイム)	幼児教育センター	○	○	○	○	○	○				○		○
	26	公立保育所拠点機能事業	食に関する育児講座等	保育幼稚園課	○	○	○	○	○	○			○	○		○
	27	幼児教育センター運営費	親子クッキング	幼児教育センター	○	○	○	○	○	○				○	○	○
	28	幼児教育センター運営費	幼児食調理講習会	幼児教育センター	○	○	○	○	○	○				○	○	○
5. 噛ミン30	29	健康管理対策事業	学校における歯科健診	学校保健課					○							
	30	学校保健管理事業	子ども期歯科保健研修会	学校保健課					○							
7. 学校における食育の取り組み	31	学校給食実施に関する事業	児童生徒の食育指導	学校保健課	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
	32	学校給食実施に関する事業	学校給食を通して家庭・地域への啓発	学校保健課	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
12. 食品の安全性	33	幼児教育センター運営費(再掲)	調理担当者の実技研修	幼児教育センター	○	○	○	○	○	○				○	○	○
	34	保育所給食施設指導	保育所給食施設指導	健康づくり課	○		○							○		○

対応する食育推進基本目標

1…「食育」の認知度 2…朝食摂取 3…栄養バランスへの配慮 4…生活習慣病の予防 5…嗜ミング30 6…家族そろっての食事
7…学校における食育の取り組み 8…食育推進ボランティア 9…地産地消の推進 10…食文化の継承 11…食品ロス削減 12…食品の安全性

3. 地域における食生活改善のための取り組みの推進

食育推進計画による基本目標	番号	中事業	事業項目	担当課名	1 「食育」の認知度	2 朝食摂取	3 栄養バランスへの配慮	4 生活習慣病の予防	5 嗜ミング30	6 家族そろっての食事	7 学校における食育の取り組み	8 食育推進ボランティア	9 地産地消の推進	10 食文化の継承	11 食品ロス削減	12 食品の安全性
4. 生活習慣病の予防	35	いきいき元気食事づくり教室	いきいき元気食事づくり教室	健康づくり課	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
	36	介護食づくり教室	介護食づくり教室	健康づくり課	○	○	○	○	○				○	○	○	○
	37	食育推進事業(再掲)	スマート・ライフ・プロジェクトの推進	健康づくり課	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○

4. 食育推進運動の強化

食育推進計画による基本目標	番号	中事業	事業項目	担当課名	1 「食育」の認知度	2 朝食摂取	3 栄養バランスへの配慮	4 生活習慣病の予防	5 嗜ミング30	6 家族そろっての食事	7 学校における食育の取り組み	8 食育推進ボランティア	9 地産地消の推進	10 食文化の継承	11 食品ロス削減	12 食品の安全性
1. 「食育」の認知度	38	食育推進事業(再掲)	食育情報発信事業	健康づくり課	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
	39	子育て支援啓発事業	乳幼児食育アドバイザー養成講座	幼児教育センター	○							○				
8. 食育推進ボランティア	40	食生活改善事業(再掲)	食生活改善推進員養成講座	健康づくり課	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
	41	子育て支援啓発事業(再掲)	乳幼児食育アドバイザーフォローアップ講習会	幼児教育センター	○	○	○	○	○			○		○	○	○
	42	食生活改善事業(再掲)	食生活改善推進員研修会	健康づくり課	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○

5. 生産者と消費者との交流促進・自然や環境と調和のとれた農林漁業の活性化

食育推進計画による基本目標	番号	中事業	事業項目	担当課名	1 「食育」の認知度	2 朝食摂取	3 栄養バランスへの配慮	4 生活習慣病の予防	5 嗜ミング30	6 家族そろっての食事	7 学校における食育の取り組み	8 食育推進ボランティア	9 地産地消の推進	10 食文化の継承	11 食品ロス削減	12 食品の安全性
9. 地産地消の推進	43	青果市場管理運営事業 水産市場管理運営事業	卸売市場の見学及び体験学習	卸売市場管理事務所	○								○			
	44	水産市場管理運営事業	お魚まつり	卸売市場管理事務所	○								○	○		
	45	水産物消費拡大事業	水産物消費拡大	水産課									○	○		
	46	付加価値の高い一次産品育成対策事業	スマート化・高品質化支援事業	農政課									○	○		

対応する食育推進基本目標

1…「食育」の認知度 2…朝食摂取 3…栄養バランスへの配慮 4…生活習慣病の予防 5…噛ミング30 6…家族そろっての食事
7…学校における食育の取り組み 8…食育推進ボランティア 9…地産地消の推進 10…食品ロスの削減 11…食品の安全性

5. 生産者と消費者との交流促進・自然や環境と調和のとれた農林漁業の活性化

食育推進計画による基本目標	番号	中事業	事業項目	担当課名	1 「食育」の認知度	2 朝食摂取	3 栄養バランスへの配慮	4 生活習慣病の予防	5 噛ミング30	6 家族そろっての食事	7 学校における食育の取り組み	8 食育推進ボランティア	9 地産地消の推進	10 食文化の継承	11 食品ロスの削減	12 食品の安全性	
9. 地産地消の推進	47	栽培漁業推進事業	啓発活動・水産教室など	水産課	○								○				
	48	地産地消推進事業(再掲)	地産地消の促進	水産課									○	○			
11. 食品ロス削減	49	地域リサイクル活動支援事業	食のリサイクル	廃棄物減量推進課									○		○		○

6. 食文化継承のための活動の支援

食育推進計画による基本目標	番号	中事業	事業項目	担当課名	1 「食育」の認知度	2 朝食摂取	3 栄養バランスへの配慮	4 生活習慣病の予防	5 噛ミング30	6 家族そろっての食事	7 学校における食育の取り組み	8 食育推進ボランティア	9 地産地消の推進	10 食文化の継承	11 食品ロスの削減	12 食品の安全性	
1. 「食育」の認知度	50	食生活改善事業(再掲)	食生活改善伝達講習会	健康づくり課	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	51	離島漁業再生支援交付金事業	ブルーツーリズムの推進	水産課									○	○			

7. 食品の安全性、栄養、そのほかの食生活に関する調査、情報の提供

食育推進計画による基本目標	番号	中事業	事業項目	担当課名	1 「食育」の認知度	2 朝食摂取	3 栄養バランスへの配慮	4 生活習慣病の予防	5 噛ミング30	6 家族そろっての食事	7 学校における食育の取り組み	8 食育推進ボランティア	9 地産地消の推進	10 食文化の継承	11 食品ロスの削減	12 食品の安全性	
12. 食品の安全性	52	給食施設等指導事業	調理従事者等研修会	健康づくり課	○		○	○								○	
	53	食のリスクコミュニケーション事業	食のリスクコミュニケーション事業	生活衛生課													○
	54	営業許可調査事業	衛生講習会	生活衛生課													○
	55	食肉品質向上事業	と畜場見学、検査体験	食肉衛生検査所													○
	56	家畜保健衛生対策事業	家畜保健衛生対策	農政課													○

番号	中事業	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	現状値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
令和2年度									R2年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
1. 家庭でのライフステージにおける食育の推進															
1. 「食育」の認知度															
1	子育て支援啓発事業	離乳食講座と実習	幼児教育センター	月齢や発育・発達状態に合わせた離乳食の段階や調理方法の指導、基本的な食材を使った離乳食作りと試食体験。	月齢や発育・発達状態に合わせた離乳食の段階や調理方法の指導、基本的な食材を使った離乳食作りや相談の場を提供により安定した生活を図る。	妊産婦 乳児の保護者	参加者満足度	コロナ(5回中3回) ●開催回数14回予定、9回開催 ●内容:5~6か月頃と7~8か月頃(5回)、9~11か月頃、12~18か月頃の離乳食の講話とメニューの紹介(4回) ●開催場所:中央保健福祉センター(8回)、幼児教育センター(1回) ●対象:妊産婦及び乳児保護者 各10名(7回)、オンライン開催各20~25組(2回)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
2	食育推進事業	高校生への食育推進事業	健康づくり課	家庭から自立する時期にある高校生を対象に食に関する啓発を行う これまでの高校文化祭への出張に加え、出前講座の活用について、各学校に周知して促す。	家庭から自立する時期にある高校生に対し、健康的な食生活を実践するための支援を行う。	高校生	実施学校数	※コロナ 令和元年度と同様に進行予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、高校での文化祭が開催されず未定であったため、実施予定にしていた対象高校へ資料を配布した。	4校	4校	4校	4校	4校	4校	
3	コミュニティセンター主催講座	食に関する講座による情報提供	社会教育課	各コミュニティセンターが主催する市民向け講座に、食育のメニューを盛り込んで実施。	市民が食育に関して理解を深めるとともに、幅広い知識を持ち、実践するようになる。	市民	開催講座	料理教室をはじめ、食生活に関する情報提供により参加者の健康づくりや生きがいづくりを目的とする。	12	20	20	総合計画計画外	総合計画計画外	総合計画計画外	
4	生涯学習講師派遣事業	まちづくり出前講座	社会教育課	市職員が講師となつて市民向け研修・講習・説明を行う 「出前講座」を開催し、食育に関する情報を提供。	市民が食育に関して理解を深めるとともに、幅広い知識を持ち、実践するようになる。	市民グループ	受講団体数	役所(及び関係機関)の業務をメニューとして取り揃え、市職員が講師として市内の学習グループ等に対して説明を行う。本年度も食育に関する講座は7講座あり、25回の実施を目標としている。	15	15	15	総合計画計画外	総合計画計画外	総合計画計画外	
5	食育推進事業(再掲)	食育意識啓発、普及	健康づくり課	ライフステージに応じ、市民の望ましい食生活に向けた食育に関する出前講座や、食育に際してのイベントを行う団体と連携し、イベントで食育に関するブースを設け普及啓発を行う。また家族そろっての食事(共食)は食育の原点であることから、月に1度は家族そろって食事する機会を持つよう啓発を行う。	食育に関心を持ち、実践する市民の増加を図る。	市民	イベント及び講座参加者数	各種イベントにおける食育ブースの出展はできなかったが、食育月間や食生活改善普及運動・健康増進普及月間等において、展示を行った。 また、出前講座や依頼講話等において、各ライフステージに応じた食講話を実施し、市民への食育の普及・啓発を行った。	2,708人	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	
6	食育推進事業(再掲)	ヘルシーコンテスト(家族そろっての食事推進)	健康づくり課	望ましい食習慣を身につけるために、簡単に作る事ができるメニューを募集し、募集した作品のレシピの配布等を行い周知・啓発を図る。	啓発をとおして、各家庭での基本的な食習慣(家族そろっての食事や朝ごはんを食べる)を見直す機会を図る。	市民	応募作品数	新型コロナウイルス感染症の終息が不透明であったため、R2年度のヘルシーコンテスト作品での作品の募集、審査は中止した。	—	1,000点	1,050点	1,100点	1,150点	1,200点	
2. 朝食摂取															
7	食育推進事業	大学生・専門学校生への食育推進事業	健康づくり課	家庭から自立し、食生活が乱れやすくなる時期であるため、各大学のSNS等と連携し、望ましい食生活の継続に向けた情報発信を行う。	望ましい食生活に関する知識を普及すること、将来の生活習慣病を予防する。	市内の大学・短期大学・専門学校に通学する学生	情報発信回数	R2年度がこの事業の最終年度となるため、県立大学佐世保校・長崎短期大学の学生を対象に、各校の近くの地区公民館で料理教室を実施予定にしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室の実施は中止し、ポスターの掲示や食育推進計画の概要版の配布を行った。	2回	3回	3回	3回	3回	3回	

番号	中事業	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	現状値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
3. 栄養バランスへの配慮									R2年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
8	母子管理対策事業	4か月児健診	子ども保健課	授乳期の母親の食事・母乳栄養・混合栄養・離乳食開始から完了期についての指導。	親子の心の安定の中で食を楽しみ心地よい生活を実現する。	対象児保護者	健康診査受診率	授乳期の母親の食事・母乳栄養・混合栄養・離乳食準備期から完了期についての指導	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
9	介護予防・生活支援サービス事業	きらっと元気教室	長寿社会課	面談や運動プログラムを中心とした実施し、セルフマネジメントの定着を目指す。口腔機能向上・栄養改善の健康教育も行う。	対象者に応じた個別のプログラムを設定し、各機能の向上を図ることにより、自分らしい生活の確立と自己実感を支援する。	総合事業対象者および要支援者および要介護1・2の認定者のうち、短期集中教室に参加した高齢者のうち栄養改善の健康教育を実施した割合	さらっと元気教室	生活行為に支障があり、運動機能が低下している者に対し、面談や運動プログラムを中心に、栄養改善・口腔の講話を各1回取り入れた内容を実施する。令和2年度は、内容を変更したため、モデル事業として実施。初回訪問+12回通所モデル事業のため、3か月1クルールの利用とする利用者 20名	60%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
10	育児等健康支援事業(再掲)	母子健康手帳交付	子ども保健課	母子健康手帳の交付時に保健・栄養・歯科についての個別指導を実施。	妊娠中に生活指導・相談を展開することにより、早期にハイリスク妊婦の把握及び支援体制ができ、妊婦が安心して妊娠・出産準備ができる。	妊産婦	栄養指導実施率	母子健康手帳交付時に栄養・保健・歯科についての指導を実施。栄養相談は初産婦及びハイリスク者(BMI1.25以上)へ実施している。	83.4%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
11	育児等健康支援事業(再掲)	マタニティ学級	子ども保健課	妊娠中に起こりやすい異常、妊娠・授乳期の食生活と歯の健康についての講話を実施。	健康の増進、生活の質の向上、パランスのとれた食生活による豊かな生活、家族で食卓を囲む楽しい食事の実践につながる。	妊婦	マタニティ学級受講率(産婦人科実施分含む)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～6月までの講座を中止した。7月以降は定員を設け、講座の時間を短縮した上で、調理実習は行わず、講義形式にのみその試飲を加え開催する。	47.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
4. 生活習慣病の予防															
12	特定健康診査事業費	特定健康診査	医療保険課	国民健康保険加入者の40～74歳を対象にメタボリック候群)に着目した特定健康診査を実施。また、健診後に管理栄養士による対象者の健康状態に応じたきめ細かな栄養指導などを実施する。	生活習慣病予防のために、メタボリック候群)とその予備群を的確に抽出し、該当者を特定保健指導につなげる。	国民加入者40～74歳	受診率	受診率目標37.5%	25.0%	35.8%	36.0%	36.0%	36.0%	36.0%	36.0%
13	特定保健指導事業費	特定保健指導	医療保険課	国民健康保険加入者の40～74歳を対象にメタボリック候群)に着目し、管理栄養士による対象者の健康状態に応じたきめ細かな栄養指導などを実施する。	特定健康診査により抽出した糖尿病などの生活習慣病予備群に対して適切な保健指導を行い、対象者が生活改善を行うことで将来的な発症の抑制を目指すもの。	国民加入者40～74歳	特定保健指導実施率(%)	実施率目標60%以上	64.7%	64.5%	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%
14	健康相談事業	健康相談	健康づくり課	生活習慣病に関する来所・電話相談、食生活や生活全般に対する指導助言。	個別相談を行うことで、対象者の生活状況に合わせた具体的な指導を行い、生活習慣病を予防する。	40歳以上	相談者数	生活習慣病に関する来所・電話相談、食生活を含めた運動や生活全般に対する指導助言。	2,915人	4,000人	4,000人	4,000人	4,000人	4,000人	4,000人
15	健康教育事業(再掲)	健康教育	健康づくり課	食生活、運動、生活全般の指導助言、骨粗しょう症検診や歯科健診の指導。	食の知識を深めることにより、健康への自覚を高め自分の健康管理を主体的に実践する。	40歳以上	健康教育の実施回数	食生活、運動、生活全般の指導助言、骨粗しょう症検診や歯科健診の指導。	74回	100回	130回	130回	170回	200回	200回

番号	中事業	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容		現状値		目標値		目録値
								令和2年度	令和2年度	R2年度	R4年度	R5年度	R6年度	
5. 噛ミング30														
16	1歳6カ月児健康診査	1歳6カ月児健康診査(歯科健診含む)	子ども保健課	幼児食から普通食・間食についてや、噛む習慣の定着についてなどの指導。	子どもが食を楽しむ、食に関心をもち、生活リズムの確立を図る。	対象児保護者	健康診査受診率	離乳食の完了期、幼児食・間食などの相談、歯科健診の実施	95.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
17	1歳6カ月児健康診査(再掲)	2歳児経過歯科健診	子ども保健課	2歳になるフロロローリーに対してアンケータ状況調査と歯科健診。	保護者に対し、歯の大切さ、生活習慣の見直しなどを意識づけ、健全な口腔機能の維持を図る。	対象児保護者	アンケート回収率	幼児食・間食などの相談、歯科健診の実施	89.7%	88.0%	未定	未定	未定	未定
18	3歳児健康診査	3歳児健康診査(歯科健診含む)	子ども保健課	食に関する相談、歯科健診の実施、正しい咀嚼についての指導。	バランスの取れた食事や生活リズム、食事マナーなどについての認識、健全な口腔機能の維持を図る。	対象児保護者	健康診査受診率	食に関する相談、歯科健診の実施	92.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
19	健康診査事業(再掲)	成人歯科健診	健康づくり課	歯科医院での歯科健診、中央保健福祉センターでの歯科健診を実施。食の基礎となる歯や口腔の健康維持、機能維持を促進する。	毎日の食生活の充実、「食べる楽しみ」を確保する。	18歳以上(高校生を除く)	委託歯科健診、所内歯科健診及び離島での歯科健診の受診者数	18歳(高校生を除く)以上を対象とし、市民の方へ受診勧奨を行う。なお、満40:50:60歳の節目の方には無料クーポン券を送付し受診促進を図る。新型コロナウイルスの影響により、集団健診及び若年者健診が中止となったため、勧奨は及びを発送しなかった。	591人	1,350人	1,350人	計画に合わせる	計画に合わせる	計画に合わせる
20	歯科保健推進事業	8,020認定証発行交付	健康づくり課	健康優良高齢者コンテシートの廃止に伴い、佐世保市成人歯科健診受診者に対する、80歳以上(自分の歯を有する者)に対して「8020認定証」を発行交付を行う。	健康で楽しく食生活をおくため、80歳以上になっても20本以上、自分の歯を保持する。	満80歳以上	認定証発行者数	対象者：佐世保市成人歯科健診を受診した80歳以上の方 健診実施時期：通年(委託歯科医院、所内歯科健診、認定証発行者) 認定証発行時期：7月、10月、1月、4月(年間4回) ※認定証は、佐世保市・佐世保市歯科医師会の連名で発行し、歯科医師会より郵送される。	14人	24人	24人	計画に合わせる	計画に合わせる	計画に合わせる
21	健康診査事業(再掲)	妊産婦歯科健診	子ども保健課・健康づくり課	歯科医院での歯科健診、生活習慣病健診時の歯科健診を実施するとともに、妊産婦に必要な歯科保健指導や健康管理を実施。	毎日の食生活の充実、「食べる楽しみ」を確保する。また、歯科保健指導によって、妊産婦に必要な口腔管理を行う。	妊産婦	受診者数	妊産婦については、18歳以上(高校生を除く)を対象とした佐世保市成人歯科健診を利用し、母子健康手帳交付時などで受診勧奨を行い、歯科健診を勧めていく。また、妊産婦については、各母子健診の場を利用して受診勧奨の周知を行っていく。	234人	250人	250人	計画に合わせる	計画に合わせる	計画に合わせる
22	歯科保健推進事業(再掲)	デンタルフェアスティーバル	健康づくり課	毎年6月の「歯の衛生週間」に開催、「食生活コーナー」を設けて、おやつなどの砂糖含有量について指導を実施。	啓発をおとして食の楽しみ、歯と口の健康維持、むし歯予防を図る。	市民	参加者数	例年、6月第1日曜日に中央公民館においてイベントを開催し多くの市民が来場していたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で中止となった。代替として6月4日の新開町チャララに歯科保健推進推進センターにて展示を実施していただき中止となり、作品を高砂駐車場連絡通路にて展示し、表彰式も執り行わない。	—	3,000人	3,000人	計画に合わせる	計画に合わせる	計画に合わせる
6. 家族そろっての食事														
23	子育て支援啓発事業	父親向け食育講座	幼児教育センター	父親向け食育講座の開催	乳幼児をもつ父親が食の大切さについて講話や実習をおとして学ぶ機会とする。また、家族と一緒に試食することで、家族で食事をすることの良さ、楽しさを体験する。	乳幼児の子どもを持つ父親	参加者満足度	●開催日：9月16日(日) ●開催場所：幼児教育センター ●内容：講話・実習・試食 ●献立：春巻きのクレープ・フルーツ添	100%	100%	100%	100%	100%	100%
24	男女共同参画推進啓発事業	親子クッキング	人権男女共同参画課	身近な食材を利用しながら、親子でふれあいがながら料理を作る。	親子での料理体験を通じ、家庭での男女平等教育、男女共同参画の推進、食育の推進を図る。	子ども保護者	定員充足率	コロナウイルス感染症拡大の観点より、実施せず。	—	80.0%	85.0%	95.0%	95.0%	100.0%

番号	中事業	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	現状値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
2. 教育及び保育機関などにおける食育の推進															
1. 「食育」の認知度															
25	幼児教育センター運営費(再掲)	食に関する相談(子育てトークほっとタイム)	幼児教育センター	子育て相談員を交えて保護者同士がおしゃべりを楽しむ中で、食に関する情報交換、相談を実施。	食生活の不安を解消する。	幼児の子どもを持つ保護者	参加者満足度	●開催日:11月4日 ●開催場所:幼児教育センター ●対象:乳幼児の子どもをもつ母親 ●内容:手遊びや読み語りなど親子で楽しんだ後、母親は小グループに分かれ情報交換を行った。(子どもも8~大人7)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
26	公立保育所拠点機能事業	食に関する育児講座等	保育幼稚園課	食に関する講話や調理実習、むし歯予防の講話。	在宅親子に対して、食や口腔に関する正しい知識を普及する。	在宅親子	参加者数	○栄養士講話、わいわい広場で1回実施。 ○歯科講話、わいわい広場で4回実施。 ○たんぼぼの会の離乳食講話を12回、歯科相談会を12回実施。 ・離乳食や食への関心を深め、望ましい食習慣を促す。 ※コロナのため栄養士講話3か所中止 ○調理実習については、アレルギーや、調理環境の実態から、実部で実施。種える、収穫、食すなどの体験は、各園わいわい広場にて実施。 ※コロナのため調理実習は中止	351人	400人	400人	400人	400人	400人	
27	幼児教育センター運営費	親子クッキング	幼児教育センター	親子で一緒に楽しむクッキングの開催。	親子料理体験をとおして親子がふれあひ、また、子どもたちから「食」への関心を高める。	就学前の幼児と保護者	参加者満足度	開催日:①8月18日 ②8月19日 献立:マフィン、コーンスープ 開催場所:幼児教育センター 対象:3歳から未就学児とその保護者各3組 *コロナ対策を行い規模を縮小しての開催	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
28	幼児教育センター運営費	幼児食調理講習会	幼児教育センター	調理講習会の開催(子ども向けのメニューや、調理方法などを学ぶ)	大人自らが食生活を見直し、食をとおして子育ての楽しさや大切さを感じると、食を楽しむ機会をとおして子どもたちの「食育」について関心を高める。	就学前の幼児と保護者	参加者満足度	●開催日 ①10月6日、10月7日 ②3月11日(オンライン講座で実施) ●献立:①栗とキノコのしょうゆ煮の混ぜごはん、白菜漬けのシュウマイ ②ホワイトソースの基本的な作り方(グラタン) ●開催場所:幼児教育センター ●対象:未就学児の子どもをもつ保護者各6組	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
5. 嗜ミング30															
29	健康管理対策事業	学校における歯科健診	学校保健課	学校歯科医による児童生徒の歯科健診を実施するもの。	児童生徒の健康管理・増進を図る。	児童生徒	12歳児の1人平均歯数(DMFT指数)	学校歯科医により、各学校年1回~2回実施。	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
30	学校保健管理事業	子ども明歯科保健研修会	学校保健課	学校での歯科健康診断、歯科保健教育、むし歯や歯周疾患の積極的な予防のための研修会を開催。	市歯科医師会の協力のもと、本研修会を開催している。よい歯の学校(園)の表彰や、講演会の開催により、歯科保健の充実に寄与している。	教職員、保護者、歯科医	研修会参加人数	※コロナのため中止	—	250人	250人	250人	250人	250人	250人
7. 学校における食育の取り組み															
31	学校給食事業に関する事業	児童生徒の食育指導	学校保健課	特別活動や給食時間、総合的な学習などを利用した児童生徒の体験学習を実施	体験をとおして、児童生徒が健康的な食生活のあり方や望ましい食習慣を身につける。	児童生徒	小・中学校における体験活動をおとした食育実施率	食育指導全体計画の作成	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
32	学校給食実施に関する事業	学校給食を通して家庭・地域への啓発	学校保健課	学校給食の試食会等の実施	学校給食の意義や食に関する正しい知識や理解を深める。	保護者等	学校給食試食会実施率	※コロナのため中止 学校給食試食会を保護者・地域の方・地域の園児等とともに実施する。	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

番号	中事業	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	現状値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
								令和2年度	R2年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
1. 食品の安全性															
33	幼児教育センター運営費(再掲)	調理担当者の実技研修	幼児教育センター	調理担当者、給食やおやつの実技研修を実施。	保育施設において、不足しがちな栄養を含み給食献立を取り上げ、子ども達の発達に必要な栄養の取り方を学び、食事の提供を望ましい食習慣としつづけが実践できる人材を育成する。	保育所等の調理担当者	参加者満足度	●開催回数:1回 ●開催場所:実技なし ●対象:保育所等の調理担当者 ●内容:資料の提供とアンケート実施	82.3%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
34	保育所給食施設指導	保育所給食施設指導	健康づくり課	特定給食施設などの設置者に対し、栄養管理のための指導、助言、支援。	各施設での効果的な業務の実施と施設間の給食提供の格差を無くす。	調理や献立作成に従事する者、給食責任者	「指導」判定となった施設の割合	毎年5月・10月に保育所給食施設より給食内容検討表の提出がある。R2年度も検討表から栄養量の過不足などのある施設に対し、支援・助言を行った。	46.7%	40.0%	38.0%	36.0%	34.0%	30.0%	
3. 地域における食生活改善のための取り組みの推進															
4. 生活習慣病の予防															
35	いきいき元気食事づくり教室	いきいき元気食事づくり教室	健康づくり課	いつまでも元気でいきいきと過ごすために、食をおしと健康を維持し、介護予防についての理解を深めるための講話や実習を行う。	いつまでも元気で、活動的に暮らすために高齢者とその家族を支援する。	高齢者、家族	料理教室の参加者数	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室の実施を中止した。資料を購入し、各地区公民館に設置。また、過去のレシピをホームページに掲載した。	—	384人	384人	384人	384人	384人	次期介護保険事業計画と合わせて
36	介護食づくり教室	介護食づくり教室	健康づくり課	要介護者の状態を維持しながら、食べる楽しみを得るための介護食を習得する料理教室の開催。	介護を必要とする人の食べる機能の段階に応じた介護食づくりを行い、介護に携わる人の調理技術と食に関する知識を向上させる。	介護に携わる方で介護食づくりに不慣れな方	料理教室の参加者数	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室の実施を中止した。介護食づくりに関する情報をホームページに掲載した。	—	160人	160人	160人	160人	160人	次期介護保険事業計画と合わせて
37	食育推進事業(再掲)	スマートライフ・プロジェクトの推進	健康づくり課	厚生労働省が行っているスマートライフ・プロジェクトのリーフレットやPOPを市民にとって身近なスーパーなどの店舗に設置し、望ましい食生活の継続に向けた情報発信を行う。	市民が望ましい食習慣を実施できるよう、市内の店舗など行動変容が期待できる場所での周知を図る。	市民	POP掲示の協力店舗数	9月にスマートライフプロジェクトとして、市内の店舗にPOPを掲示した。	4店舗	10店舗	15店舗	20店舗	25店舗	30店舗	
4. 食育推進運動の強化															
1. 「食育」の認知度															
38	食育推進事業(再掲)	食育情報発信事業	健康づくり課	より多くの市民に食育情報伝えるため、掲示、ラジオ出演、ホームページやSNSを活用した情報発信を行う。	食育に関心を持ち、実践する市民の増加を図る。	市民	情報発信回数	市民に情報提供を行うために、連絡通路の掲示やラジオ出演を行った。 ・連絡通路の掲示…6月、9月、3月 ・ラジオ…6月、8月、3月	6回	10回	12回	14回	15回	16回	
8. 食育推進ボランティア															
39	子育て支援啓発事業	乳幼児食育アドバイザー養成講座	幼児教育センター	乳幼児食育アドバイザー養成講座の開催 ※3～5年に一度の目目で開催。	食の大切さや乳幼児からの食育の必要性を、家庭や離乳食講座等で発信していくことができる。一手として、人材育成をする。	一般市民	参加者満足度	令和元年度に養成講座実施、3～5年に一度の開催予定。	—	100.0%	未定	未定	未定	未定	未定
40	食生活改善事業(再掲)	食生活改善推進員養成講座	健康づくり課	食生活改善推進員になるための養成講座の開催。	健康づくりの協力者を育成し、地域住民への食育推進を図る。	食生活改善推進員を目指す市民	修了者数	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食生活改善推進員研修会の実施も不透明であるため、R2年度は実施しなかった。	—	20人	20人	20人	20人	20人	20人

番号	中事業	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	現状値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
41	子育て支援啓発事業(再掲)	乳幼児食育アドバイザーフォローアップ講習会	幼児教育センター	乳幼児食育アドバイザーフォローアップ講座の開催。	乳幼児食育アドバイザーの共通認識とスキルアップを図る。	乳幼児食育アドバイザー	参加者満足度	●開催日:10月15日(火) ●開催場所:中央保健福祉センター ●内容:授乳・離乳の支援ガイド(2019年改定版)一要点と離乳食の指導への活かし方	100%	100%	100%	100%	100%	100%
42	食生活改善事業(再掲)	食生活改善推進員研修会	健康づくり課	食生活改善推進員の知識向上のための研修。	知識の習得・会員間の交流により、会員の資質向上と市民への対応力の向上を図る。	食生活改善推進員	参加率	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～6月までの研修会を中止した。7月以降の研修会は調理実習を行わず、講義形式で実施した。7月以降研修会は、9地区で各2回実施。フォローアップ研修2回(1・3年目、男性)は中止した。	58.5%	62.0%	64.0%	66.0%	68.0%	70.0%
5. 生産者と消費者との交流促進・自然や環境と調和のとれた農林漁業の活性化														
9. 地産地消の推進														
43	青果市場管理運営事業	卸売市場の見学及び体験学習	卸売市場管理事務所	卸売市場の見学及び青果物などの体験学習。	卸売市場の見学及び体験学習とおし、市場の役割や食べの理解を深めるとともに、青果物・水産物等の消費拡大に資する。	市民 来訪者	見学者数	青果・花き・水産市場において見学者希望の申込みに対し、市場見学を準備予定であったが、コロナ感染対策のため市場見学の受け入れを断っており、実施なし。	—	900人	900人	900人	900人	900人
44	水産市場管理運営事業	お魚まつり	卸売市場管理事務所	魚食普及、地産地消の推進を目的としたイベントの開催。	水揚げされる新鮮な地元食材の提供と消費者への魚食普及を図る。	水産市場関係者 消費者	お魚まつり 入場者数	水産市場において、お魚まつりを開催予定であったが、コロナ感染対策のため開催中止。小学生を対象としたお魚の絵コンテストのみ実施、入賞作品を表彰し約120点の絵を市場内に展示、地産地消と魚食普及のPRとなった。	—	40,000人	40,000人	40,000人	40,000人	40,000人
45	水産物消費拡大事業	水産物消費拡大	水産課	水産物の県外・市外販売促進イベント開催への助成。	地域水産物の広域的なPR活動により消費拡大・販路拡大を図る。	水産関係団体 漁業協同組合	イベント 参加者数	水産加工品PR・販売イベントの開催経費に対する支援	21,445人	6,200人	6,200人	6,200人	6,200人	6,200人
46	付加価値の高い一次産品育成対策事業	スマート化・高品質化支援事業	農政課	農産物の生産性の向上及び高品質化の活動を実施するもの。	スマート農業技術の導入を加速しつつ、農産物の高品質化と並行しながら、本市農畜産物の収益性の向上と持続可能な農業の達成を目指す。	農業者	認定農業者1 人あたりの生産額	「産地活性化支援事業」において、本市の重点品目であるいちご、菊、アスパラゲルの支援を行う。	—	2,257万円	2,257万円	2,257万円	2,257万円	—
47	栽培漁業推進事業	啓発活動、水産教室など	水産課	水産教室、お魚料理教室、漁業体験などの開催。	体験などを通じてブルーリリーズムを推進するとともに、料理教室を通じて水産物の消費拡大、地産地消の推進を図る。	市民	水産教室などへの参加者数	水産教室の開催 小中学校で栽培漁業、地元水産振興活動の紹介、種苗放流、さばき方教室の実施 *コロナの影響により開催回数減少	175人	200人	200人	200人	200人	200人
48	地産地消推進事業(再掲)	地産地消の促進	水産課	地元水産物の地元販売促進イベント開催への助成。	地域水産物の地域内消費拡大を図る。	水産関係団体 漁業協同組合	イベント 参加者数	水産加工品PR・販売イベントの開催経費に対する支援。	※水産物消費拡大に含む	※水産物消費拡大に含む	※水産物消費拡大に含む	※水産物消費拡大に含む	※水産物消費拡大に含む	※水産物消費拡大に含む
1. 1. 食品ロス削減														
49	地域リサイクル活動支援事業	食のリサイクル	廃棄物減量推進課	生ごみを活用した元気野菜づくりの体験活動を実施するため「生ごみ減量アドバイザー」を登録し、地域や学校などの講習会に指導者として派遣。	自然の恵みに感謝し、自然の仕組みを知ることにより、食への関心を高めるとともに、「限りある資源を大切にすることを育む。	幼稚園、保育所の園児 児童生徒 市民	派遣回数	生ごみを活用した土づくり、野菜づくりをおして「食品ロス」「食」を含めて「食」の大切さを伝え、ごみの減量につなげることを目的としてごみ減量アドバイザーを派遣する。	4回	5回	5回	5回	5回	5回

番号	中事業	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	現状値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
									R2年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
6. 食文化継承のための活動の支援														
1. 「食育」の認知度														
50	食生活改善事業(再掲)	食生活改善伝達講習会	健康づくり課	佐世保市食生活改善推進協議会に委託し、食生活改善推進員研修会で学んだ内容を市民に伝達することで、望ましい食生活の普及を行う。	市民が食生活に関する正しい知識や調理方法を習得すること。	市民	実施回数に対する実施数の割合	地域住民の健康増進を目的として、食生活改善推進協議会に各地区公民館等での伝達講習会の開催を委託しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため事業を中止した。	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
10. 食文化の継承														
51	継島漁業再生支援交付金事業	ブルーーツーリズムの推進	水産課	観光資源を活用した地域振興策の実行。	観光資源を活用し、漁村の活性化や食と漁業への理解を深める。	漁業者 地区住民	継島地区における漁獲量	ウニ割り体験などの体験メニューの提供。	2,365t	2,600t	2,600t	2,600t	2,600t	2,600t
7. 食品の安全性、栄養、そのほかの食生活に関する調査、情報の提供														
1.2. 食品の安全性														
52	給食施設等指導事業(再掲)	調理従事者等研修会	健康づくり課	特定給食施設などの調理師及び調理員に対して、給食管理、衛生管理に関する知識や技術向上のための情報提供。	調理師及び調理員の資質の向上を図る。	特定給食施設などの調理師及び調理員	参加施設割合	9月末から10月に実施予定であったが、市内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。業務の参考になる資料をホームページに掲載し、対象施設へメールで通知し、閲覧を促した。	—	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
53	食のリスクコミュニケーション事業	食のリスクコミュニケーション事業	生活衛生課	食関係情報の提供と意見交換(リスクコミュニケーション)の推進。	衛生意識の向上による安全な食品の提供と食品事故を未然に防止する。	市民 食品関連事業者	意見交換会開催回数	新型コロナウイルス感染症の影響で、中止。	—	2回	2回	2回	2回	2回
54	営業許可調査事業	衛生講習会	生活衛生課	営業者、営業所従事者及び消費者に対する衛生講習会の開催。	食品の安全性に関する基礎的な知識を習得する。	消費者 食品等事業者	食品衛生講習会実績	市民、食品営業者向けに食品衛生講習会を実施。 ・責任者 2回 ・営業者 2回 ・消費者 3回 新型コロナウイルス感染症の影響で、食品衛生責任者養成講習は中止。食品衛生責任者実務講習は中止し、資料のみ送付。	7回	60回	60回	60回	60回	60回
55	食肉品質向上事業	食肉衛生検査所	食肉衛生検査所	お肉ができるまでの過程の見学や食肉検査の学習、体験。	生きた動物がお肉となった過程についての理解を深めることで、食に関する感謝の気持ちを育むとともに、消費者の安全・安心な食生活環境づくりを推進する。	小学生 高学年の児童及びその保護者、中学生	参加者満足度	イベント開催中止 (新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため)	—	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
56	家畜保健衛生対策事業	家畜保健衛生対策	農政課	家畜の疾病、事故が減少することを目的として、農畜団体が行う事業に対して補助金を交付。	家畜の疾病、事故等を未然に防ぎ、安全な食品を提供する。	農畜団体	子牛出荷時におけるブリーダー接種率	疾病予防対策事業、牛舎衛生対策事業、畜生虫対策事業に対し補助金を交付。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%